

機関名	金沢大学 教学マネジメントセンター		
設立年	2021 年		
Web サイト URL	https://chishiki.w3.kanazawa-u.ac.jp/assets/img/about/kanazawa_u_CMTL.pdf		
所在地	〒920-1192 石川県金沢市角間町金沢大学インキュベーション施設		
連絡先	電話	076-264-5956	FAX
	E-mail	ml-info-tlc@ml.kanazawa-u.ac.jp	
代表者名	片岡 邦重（センター長）		
スタッフ	教員 4 名（センター長（兼任）：教授 1、副センター長（専任）：教授 1、（専任）教授 1、特任助教 1）		
沿革	2003 年 4 月、国立学校設置法施行規則 別表第七の二 金沢大学に置く学内共同教育研究施設として発足。教育改革を担う組織として大学教育研究開発、評価システム研究、教育支援システム研究の 3 部門 5 名体制。2016 年 4 月、スーパーグローバル大学創成支援事業に伴う学内組織改革により、同センターは 5 名体制の国際基幹教育院高等教育開発・支援部門となる。2021 年 4 月、文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業」を契機とした組織改革により 3 名体制の教学マネジメントセンターとして生まれ変わる。		
特徴	<p>教学マネジメントセンターの業務は、設置要綱によると「(1)全学の教学マネジメントの確立，学位プログラム等における教育の質保証及び質向上に関すること。(2)教育方法，教育システム及び教育支援等に関する研究開発並びに教育に係る質保証システムの研究開発に関すること。(3)全学的に取り組む教育事業及び分野横断的学位プログラムの企画立案，運営及び評価に関すること。(4)教育スキルの向上に資する支援に関すること。(5)全学の FD・SD の企画・実施及び学域・研究科等の FD・SD 活動の支援に関すること。(6)その他前条の目的を達成するために必要な業務に関すること。」となっています。前身の高等教育開発・支援部門の業務を、教学マネジメントおよび教育質保証を切り口に整理した上で、より具体的に教育担当部局への FD・SD 支援、教育プログラム企画立案を担う組織として位置づけられています。</p>		
出版物	<p>・監修：清成忠男（法政大学総長）、編集：早田幸政、企画：金沢大学大学教育開発・支援センター『国立大学法人化の衝撃と私大の挑戦』、エイデル研究所、2005 年 2 月、全 367 頁</p> <p>金沢大学大学教育開発・支援センター企画</p> <p>・TESK ライブラリー1「新時代の大学像と専門人材育成」、青野透編、2006 年 6 月</p> <p>・TESK ライブラリー2「教員の所属組織—今後の「大学像」の在り方に関する調査研究報告書より—」、早田幸政編、2007 年 7 月</p> <p>・TESK ライブラリー3「学士課程教育における化学 FD モデルの構築に向けて」、西山宣昭編、2009 年 3 月</p> <p>・TESK ライブラリー4「国際標準の大学教育 いかに関心の専門を英語で教えるか」、西山宣昭編、2010 年 3 月</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・TESK ライブラリー5「環境学のフレームワークと ESD カリキュラムの構築に向けて」、西山宣昭編、2011 年 10 月 ・TESK ライブラリー6「カリキュラムマップ実質化の方策－学生の到達度確認の仕組み－」、堀井祐介編、2012 年 7 月 ・TESK ライブラリー7「大学共創プロジェクト 2012 報告書」、林透（山口大学 大学教育機構大学教育センター准教授、大学教育開発・支援センター客員研究員）編、2013 年 3 月 ・TESK ライブラリー8「平成 25 年度全国大学教育研究センター等協議会報告書」、西山宣昭編、2014 年 3 月 ・ジョセフ・E・アウン著『ROBOT-PROOF：AI 時代の大学教育』（翻訳）（原題：Robot-Proof: Higher Education in the Age of Artificial Intelligence, MIT press）、森北出版、2019 年
<p>公募情報</p>	<p>現在、公募はありません。</p>

データ入力日<2021 年 10 月現在>